



明日香さんの全国入選作品「バッタと遊んだよ」

「たからもの」を 伸び伸び描き全国入選

第10回「絵で伝えよう！わたしの町のたからもの」絵画展(日本ユネスコ協会連盟主催)の表彰式は3月27日、東京都のあいおい損保本社本館センチュリーホールで行われ、鱒沢小2年の阿部明日香さんが「あいおい損害保険株式会社賞」に選ばれました。

同絵画展は「世界遺産条約」の理念の普及と、地域の文化や身近な自然環境の素晴らしさを見詰め直すことなどを目的として、全国の小中学生を対象に開催されているもの。今回は、全国73のユネスコ協会に31,439点の応募があり、その中から大賞(1点)、優秀賞(5点)、あいおい損害保険株式会社賞(6点)が選ばれました。

「バッタと遊んだよ」と題した明日香さんの受賞作品は、学校裏の公園で虫取りをした思い出を想像したもの。5匹のトノサマバッタとともに遊ぶ明日香さんの父母やきょうだいら9人の家族が生き生きと描かれています。

「バッタと楽しく遊ぶ様子が伸び伸びと表現され、童話のような世界を連想させる」と審査員から高い評価を受けました。

3月31日、受賞の報告に家族らと市民センターを訪れた明日香さんは「わたしのたからものは虫の声と家族です。ずっと仲良くしたいと思って絵を描きました」と感想を話しました。

受賞した明日香さんの作品は、来年の同協会連盟カレンダーに掲載され、全国に配布される予定です。



賞状を手にする阿部明日香さん

ふるさと村の曲り家2棟が 国の登録有形文化財に登録へ

文化庁の文化審議会(石沢良昭会長)は三月二十一日、附馬牛町の遠野ふるさと村にある旧佐々木家住宅主屋と、旧川前家住宅主屋を国の登録有形文化財(建造物)に登録するよう渡海紀三朗文部科学大臣に答申しました。

「文化財登録制度」は、従来の「文化財指定制度」を補う制度として一九九六年に創設されたもの。今ある文化財を活用しながら、保存していく制度です。築五十年を経過している建造物で①国土の歴史的

景観に寄与している②造形の規範となつていている③再現することが容易でない④の三つの視点で審査されます。



「大工どん」の名称で保存・活用されている旧佐々木家住宅

「大工どん」の名称で保存・活用されている旧佐々木信行家住宅は、明治時代初期に花巻市大迫町に建築された大型民家。木造平屋建てで、延べ床面積は約二九二平方メートル。一年に中二階が設けられ、屋根の一部が切り上げられた外観が特徴です。九一年のふるさと村への移築時に、三つの座敷が連続する大迫地方の間取りから、遠野地方に多く見られる田の字型の間取りに改造しました。

「川前別家」の名称で保存・活用されている旧川前シメ家住宅は、江戸時代末期に土淵町に建築された遠野地方の典型的な曲り家です。木造平屋

建てで、延べ床面積は約二〇〇平方メートル。曲り部分の材料が抜き取られた跡や、接合していない部材が見られることから、当初、直屋だったものを曲り家に改修したと推定されます。いずれも南部地方を代表する曲り家で、窓がない真壁工法による土壁仕上げの外壁など、曲り家の特徴を良く残している点などが評価されました。

市は二〇〇五年から、ふるさと村にある移築民家六棟の登録手続きを進めてきました。〇六年三月二日には「こびるの家」と「弥十郎どん」が、同年十一月九日には「肝煎りの家」と「大野どん」が同文化財



「川前別家」の名称で保存・活用されている旧川前家住宅

に登録されており、今回の答申により、村内すべて曲り家が登録されることになりました。市は今後も、市民の皆さんと協力しながら、ふるさとこの文化の継承と創造に取り組んでいきます。

各種表彰受賞者紹介

◎平成十九年度若手県消防表彰(三月七日、県民会館大ホールほか)

消防庁長官表彰

▽永年勤続功労章(過去二十五年間の出勤率が60%以上で成績優秀) 阿部哲也(二分団)、太田代博明(九分団)、佐々木榮二郎(四分団)、小松省治(一分団)、吉田文一(消防本部)

若手県知事表彰

▽功績章(二十五年以上勤続など) 菊池聖人(二分団)、阿部正嗣(同)、菊池由雄(三分団)、鈴木辰雄(同)、佐藤由松(五分団)、谷地正男(六分団)、佐々木長一(七分団)、藤原啓晃(同)、佐々木恭彦(八分団)、多田榮進(十一分団)、菊池由雄(同)、村上幹侍(消防本部)、菊池茂(同)

日本消防協会会長表彰

▽功績章(勤続十五年以上で精進章などを受章) 谷地信男(同本部)

▽精進章(勤続おおむね十五年以上で県消防協会「功労章」などを受章) 佐々木榮二郎(四分団)、山口勝俊(五分団)

▽勤続章(勤続三十年以上) 佐々木昭男(八分団)、山崎登

久昭(同)、佐々木達郎(同本部)、菊池聖人(二分団)、阿部正嗣(同)、菊池由雄(三分団)、鈴木辰雄(同)、谷地正男(六分団)、佐々木恭彦(八分団)、菊池仁一(消防本部)

若手県消防協会総裁・会長表彰

▽功労章(勤続二十年以上で県消防協会「功績章」を受章) 菊池朝男(同本部)、畑山昇(五分団)、佐藤由松(同)

功績章(勤続十五年以上など)

佐々木達郎(同本部)、山蔭協市(同)、阿部美一(四分団)、藤原啓晃(七分団)、齋藤順一(九分団)、佐々木壽(十分団)

表彰状(協力隊等の結成、運営に尽力など)

菊池育美(遠野婦人消防協力隊)、佐々木節子(宮守婦人消防協力隊)

内助功労(十五年以上)

たり団員である夫を助け、消防業務の遂行に多大な功労 菊池節子(部長令夫人)、菊池トミ(同)、小松信子(同)、畑山セツ子(同)

◎平成二十年年度春季交通安全功労者等表彰(四月十五日、遠野警察署)



田鎖俊孝遠野警察署長から優良運転者表彰を受ける多田幸俊さん

若手県警察本部長・若手県交通安全協会会長連名表彰

優良運転者(十年以上無事故無違反の会員)

多田幸俊(青笹分会)、堀切サト(同)、菊池八重(同)、小水内友子(同)、神楽田則夫(上郷分会)、菊池甚平(同)、立花利通(土淵分会)、菊池敏文(附馬牛分会)、熊谷榮子(同)、富松政一(小友分会)、菊池康夫(同)、山蔭和子(鱒沢分会)、多田政光(同)、多田玲子(宮守分会)、佐々木修市(同)、阿部ノリ子(同)、菊池友吉(同)、千葉ミツ子(達曾部分会)、佐藤富江(同)、多田隆周(同)、北嶋幸典(遠野分会)、菊池専一(松崎分会)

遠野警察署長・遠野市交通安全協会会長連名表彰

▽交通安全功労者(年間を通じて交通安全運動に貢献) 浅倉清志(鱒沢分会)

女性の立場から 安心安全なまちを目指す

市婦人消防協力隊設立総会は三月三十日、各分隊代表者など百二十人が参加し、あえりあ遠野交流ホールで開かれました。

平成十七年十月一日の市村合併後、旧市村の婦人消防協力隊の統合のため、市婦人消防連絡協議会を発足し、準備を進めてきました。昨年十二月の幹部会議において、調整内容がまとまり、今年四月一日付での統合となります。

市婦人消防協力隊は、自主防火思想の啓発や消防団など関係機関への協力が主な役割で、十一分隊、およそ五百人の隊員で組織します。

総会では規約、役員選任、事業計画の三議案が提案され、すべて承認されました。会長には宮守町の松田富子さんが、



細川消防団長から感謝状を手渡される千葉智恵さん(宮守町達曾部)

副隊長には青笹町の菊池育美さんと宮守町の福地千津子さんが、それぞれ選出されました。

松田会長は「両協力隊の歴史と伝統を引き継ぎ、女性の立場から、安心安全なまちづくりに貢献していきたい」と決意を述べました。

来賓として出席した本田敏秋市長は「有事の際に必要なのは、最新の設備ではなく皆さん一人一人の力で、市民の安全のため、協力をお願いします」と祝辞を述べました。

総会後、退任する四人の隊員に消防団長から感謝状が贈られ、参加者全員でこれまでの功績をたたえました。



初代隊長に選任され決意を述べる松田富子さん